

**PRESS RELEASE**

2023年2月14日

各位

本店所在地 東京都千代田区麴町二丁目1番地  
 会社名 そーせいグループ株式会社  
 (コード番号 4565 東証グロース)  
 代表者 代表執行役社長 CEO  
 クリストファー・カーギル  
 問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー一部  
 西下進一郎  
 電話番号 03-5210-3290 (代表)

**2022年12月期連結業績と前期連結業績との差異に関するお知らせ**

2022年12月期連結業績（以下、当期連結業績）と、2021年12月期連結業績（以下、前期連結業績）との差異について、以下の通りお知らせいたします。当社グループは2022年12月期の連結業績予想を開示していないため、前期連結業績との差異の説明を行うものです。

**1. 当期連結業績と前期連結業績との差異**

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前期連結業績 (A) (百万円)	17,712	3,775	433	1,017
当期連結業績 (B) (百万円)	15,569	3,436	1,078	382
増減額 (B-A) (百万円)	△2,143	△339	645	△635
増減率 (%)	△12.1	△9.0	149.0	△62.4

**2. 差異の理由**

売上収益は、契約一時金において、当期はアッヴィ社およびイーライリリー社2社との新規提携契約締結により合計4,666百万円（35百万米ドル）を受領した一方、前期はニューロクライン社から受領した11,408百万円（100百万米ドル）が含まれていたことにより、前期比減少しました。マイルストーン収入は前期の1,963百万円に対し、今期は6,429百万円となりました。

税引前利益は前期比で増加しました。これは主に前期においてニューロクライン社との取引に関する条件付対価の支払いを金融費用2,891百万円として計上していたことから、当期の金融収益および金融費用の純額が前期比3,505百万円改善した一方、関連会社であったMiNA社の公正価値が減少したことにより、当期の持分法で会計処理されている投資の減損損失が1,836百万円となったことによるものです。

親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比で減少しました。これは主に子会社であるHeptares Therapeutics Ltd.の持続的な成長に伴い、英国における研究開発費に関連する税制上の優遇措置の適用がなくなったことにより、法人所得税が増加したことによるものです。

以上

**PRESS RELEASE****Sosei Heptares について**

当社グループは、G タンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR<sup>®</sup>技術ならびに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオハイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK 社、Kallyope 社、イーライリリー社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社、Verily 社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR<sup>®</sup>は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](#)

Twitter: [@soseiheptaresco](#)

YouTube: [@soseiheptaresco](#)

---